

山梨県（山梨県南部町）

R5補正
R6当初

24

背景・課題

南部町は、県内随一の茶産地として、高品質な茶生産に取り組んできたが、食生活の変化によるリーフティー需要の減少など、生産者を取り巻く経営環境は厳しさが増している。

そこで、販売競争力を高めるため、国内外の需要が高く、高単価で取引される有機栽培茶の生産に取り組む必要がある。しかし、本県では栽培体系が確立されていないことが課題となっている。

成果目標

○栽培体系の確立

有機栽培の実証を行い、収量や品質への影響を調査し、栽培上の課題を整理する。また、遠隔カメラや防草シートによる省力栽培を組み合わせ、地域への普及に向けた栽培体系を確立する。

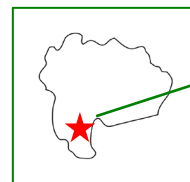
○グリーンな栽培体系に取り組む面積の拡大

令和4年度：0.1ha →令和11年度 2ha

主な取組内容

○有機栽培実証区では、化学肥料に替えて菜種粕を用いたところ、一番茶において、慣行栽培と同程度以上の収量や品質を確保することができた。

○防草シートや遠隔カメラの設置により、除草作業やほ場確認が削減され省力化につながった。



南部町

構 成 員

山梨県峡南農務事務所、総合農業技術センター、山梨県食糧花き水産課、JA山梨みらい、農業者

品 目

茶



菜種粕施用の様子



一番茶摘採期の様子
（有機栽培実証区）



防草シート・遠隔カメラ設置
による省力化

普及に向けた取組

令和4・5年度の実証の結果、有機栽培が一番茶の収量や品質に及ぼす影響や、省力技術の効果を確認できた。令和6年度も引き続き、年次変動を確認するとともに、栽培マニュアルを策定し、地域への普及を図る。

問い合わせ先

山梨県農政部峡南農務事務所
TEL：055-240-4131